



令和8年
2月15日
第89号

発行
内外政治
研究 G
代表 宮田修一

高市首相とともに

「日本を守る」具体的な戦いへ

自民党の歴史的な大勝を受けて、いよいよ高市首相が言い続けてきた「日本列島を強く豊かに」「スローガンが具体的な施策として動き出します。」

今回の衆院選での「中道」の壊滅的敗北は、国際秩序の破壊を企てる中国に歩調を合わせるかのような旧民主党勢力による姿勢に、多くの国民

党内に潜む「左派」を監視せよ！

そうして316議席を得た自民党ですが、その中には自民党の本分（本来尽くすべき責務）を忘れ、石破政権下で党を瓦解寸前にまで追い込んだ左派勢力が潜んでいます。岩屋毅元防衛大臣などは、さっそく「（高市政権が）間違った方向に行きそうなきにはブレキを踏む」と反旗を掲げ、反高市グループの結成を宣言しました。テロ

に倒れた安倍晋三元首

93%が改憲派 8割は「自衛隊明記」

朝日・東大の衆院当選者調査

朝日新聞は12日付朝刊一面トップで、今回の衆院選で当選した国会議員の93%が「改憲賛成派」だとする記事を載せました。同紙と東大法学部の谷口将紀教授（現代日本政治論）の研究室との共同調査によるもので、前回令和6年秋の衆院選の67%から急増したとしています。

調査は投票票前に各候補者に対して「いまの憲法を変える必要があるか」と質問。全ての当選者465人のうち、事前回答していた430人について、その内容を分析しました。「どちらか

と言えれば」を含む「改憲賛成」が93%なのに対し、「どちらかと言えれば」を含む「改憲反対」は3%でした。

各党別の「改憲賛成」の割合は、自民99%、維新100%、国民民主96%、参政93%、チーム未来73%、中道58%。「反対」は共産・れいわ100%でした。また、改憲項目別では「自衛隊保持の明記」が80%で最も多く、緊急事態下の議員任期延長」が64%でした。

共同通信も11日、今回の衆院当選者のうち403人から得た回答で、「どちらかと言えれば」を含む81.1%の議員が「憲法9条に自衛隊の存在を明記」に賛成しているとの記事を全国の地方紙などに配信しました。

同姓維持も

71%（共同調査）

一方、共同通信は婚姻に伴う改姓に関して3択で質問。結果は、「同姓を維持しつつ、通用使用の機会を拡大」63.8%、「選択的夫婦別姓を導入」24.8%、「現



愛子天皇論の裏にある「不敬」の正体

行制度を維持」7.4%でした。これは、各種の世論調査とほぼ同じ結果であり、旧氏（旧姓）の通称使用の法制化に向けた高市政権の動きを強く後押しするものです。

なお、共同はこれまで、一般国民を対象にした世論調査では「選択的夫婦別姓」に「賛成」か「反対」かの二者択一でしか質問していませんでした。昨年6月の世論調査発表で初めて「3択」で国民に訊いたNHKを含め、メディア自体も変わりつつあると考えてよいでしょう。

ネット配信の「デイリー新潮」に「Yahoo!」に前掲の見出しの記事がアップされました。椎谷哲夫・皇學館大學特別招聘教授の論考です。常軌を逸した悪意のある「秋篠宮家」へのバッシングへの批判、愛子天皇論の誤謬などを説き、安定的皇位継承のため旧宮家末裔の男子による「皇族養子案」の必要性を強調しています。

QRコードを読み込んでメールやアプリで友人や知人に紹介ください。

